

令和2年度 第2回宮城県図書館協議会 会議録

1 日時 : 令和3年3月12日(金) 午前10時00分から午前11時30分まで
場所 : 宮城県図書館 ホール養賢堂

2 出席者 : 佐藤 義 則 会長
柴崎 悦 子 副会長
古関 義 行 委員
菅原 孝 代 委員
千葉 えり子 委員
武者 元 子 委員
村上 康 子 委員

3 事務局等出席者の職氏名

館長	宮川 賢 一
副館長	日野 和 典
企画管理部長	千葉 則 敏
資料奉仕部長	根岸 一 成
企画管理部副参事兼次長(総括担当)	阿部 真 一
資料奉仕部副参事兼次長(総括担当)	増田 正 明
企画管理部総務班次長(班長)	我妻 則 之
企画管理部企画協力班主幹(班長)	金澤 大 輔
資料奉仕部震災文庫整備班次長	加藤 奈津江
資料奉仕部資料情報班次長(班長)	佐藤 まどか
資料奉仕部一般図書班次長(班長)	高橋 幸 也
資料奉仕部児童・視聴覚班次長(班長)	後藤 靖 彦

・オブザーバー

生涯学習課生涯学習振興班長(課長補佐)	佐藤 真 裕
同 主査	内馬場 みち子

4 定数充足について

阿部副参事兼次長が本日委員7人の出席により定足数を満たし、会議が成立した旨の報告

5 傍聴について

阿部副参事兼次長が傍聴希望者のないことを確認

6 委員紹介

菅原孝代委員（前回欠席のため）

7 開会

阿部副参事兼次長が開会を宣言

8 会長挨拶

おはようございます、佐藤です。

このコロナ禍にもありまして、なかなか皆さん年度末の新しい時期を迎えられていると思います。お忙しい中ご参加いただきまして誠にありがとうございます。

今年度は残念ながら、第2回の図書館協議会、前回の12月17日に予定されていましたが、第2回の図書館協議会はずいぶん悪天候のため中止ということになりましたので、残念ながら、今回2回目ということになります。あまりあの一ちょっと、宿題というか、前年度の宿題である評価について今日議論していただくこととなりますけれど、来年度に向けてですね、実りある議論をできたらと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

9 館長挨拶

お世話様です、館長の宮原です。今日は年度末の何かとお忙しい時期にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

昨日は3.11ということで、災害から10年目。ほんとに、長いようなあつという間のような10年間だったなと思いを新たにしております。その中で、私ども図書館としてこれからどういう役割の担っていかねばいけないのかいろいろ考えさせられることがありました。

また、昨年から大変な状況にあります、新型コロナウイルスの感染、また宮城県でもちょっと感染者が増えてる大変心配な状況下でありますけれど、こうした中でまた改めて、どういったことが図書館としてできるのか、いろいろ考えていかねばいけないと思っております。

図書館の振興につきましては、今日別紙に頂いた基本計画に基づいて粛々と進めてる分もございますが、こうした様々な状況の変化に対応して、私どももなるべく柔軟に対応していかねばいけない部分がこれからも出てくるかと思っております。今日いろいろご意見を頂く中で、どういった方向に私どもが進んでいくのか、ぜひ皆様のお考えを拝聴できればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

10 配付資料の確認及び日程説明（阿部副参事兼次長）

<配付資料>

① 第35次宮城県図書館協議会委員名簿

② 宮城県図書館振興基本計画に係る令和2年度（仮）評価・・・・・・・・（以下、資料1）

- ③ 令和2年度の図書館要覧利用状況及び主要事務事業実施概要・・・・・・・・(以下, 資料2)
- ④ 第四次みやぎ子供読書活動推進計画の概要・・・・・・・・(以下, 資料3)
- ⑤ 第四次みやぎ子供読書計画 目標指標等確認結果(令和元年度分)・・(以下, 資料4)
- ⑥ 令和元年度子供読書活動に関するアンケート調査結果・・・・・・・・(以下, 資料5)
- ⑦ みやぎの子供読書活動に関する学校状況調査結果(令和元年度分)・・(以下, 資料6)
- ⑧ こどものうみ第67号, 第68号・・・・・・・・(以下, 資料7)
- ⑨ 震災文庫だより第1号, 第2号・・・・・・・・(以下, 資料8)
- ⑩ 東日本大震災文庫企画展XI・・・・・・・・(以下, 資料9)
- ⑪ 修復完了記念展示(仙台府学養賢堂図) ※宮城県指定文化財・・・(以下, 資料10)
 ※資料1のP23の表について訂正あり(郷土関係論文目録登録件数の表, 目標●(丸)実績■(四角)が正しい旨の説明)

1.1 議長選出

図書館協議会条例第6条第1項により, 会長である佐藤会長(以下, 議長)を選出

1.2 議事録署名委員の指名

議長が千葉委員を指名

13 議事

○ 議長

それでは議事に入りますけども, 今回の協議会は時間を60分程度, というふうに予定しております。積極的なご意見を頂きまして, 次年度に繋げていきたいと思っておりますので, どうぞよろしくお願いいいたします。

それでは, 議事に入ります。資料の1ですね, 宮城県図書館振興基本計画に係る令和2年度(仮)評価について, 事務局からご説明をお願いいいたします。

○ 金澤主幹

私, 企画協力班の金澤と申します。

宮城県図書館振興基本計画に係る令和2年度(仮)評価について説明をさせていただきます。

(以下, 資料1の説明 説明順: 金澤→後藤→金澤→阿部→佐藤→加藤)

評価1.1項目につきまして, 駆け足ではございましたけれども, 説明させていただきました。よろしくご審議をお願いいいたします。

○ 議長

はい, ありがとうございます。ただ今, 多くの項目について, ご説明をいただいた訳

ですが、まずあの、ご意見あるいはご質問等ございましたらお伺いしたいと思います。いかがでございましょうか。はい、村上委員。

○ 村上委員

質問です。9ページの学校図書館との連携推進するとともにというところなんです、ここはあの、口頭ですが、今後の課題というか、計画を3点ほど伺ったんですが、学校図書館、高等学校の図書館への出前講座の派遣をするということで、職員の能力向上を図ると仰ってたんですが、これは、派遣する側の県の図書館の能力向上なのか、それとも、行った先の、そこで聞いていただく方達の能力向上なのか、どちらでしょうか。

○ 金澤主幹

学校側でございませう。学校司書ですとか、司書教諭の方々の資質向上のために、うちの図書館から職員を派遣して講座を行うことを想定しています。

これまでも市町村図書館の職員を対象に出前講座ということで、当館職員を派遣して、いろんな分野での講義、講座を設けてきたんですけど、それを学校の方にも広げましょう、と。最初は高等学校ですけども、対象に、範囲を広げましょう、ということです。

○ 村上委員

えっと、そうすると、学校図書館に司書さんを置いてますけど、その司書の皆さんの能力向上が目的、ということで、理解でよろしいでしょうか。

○ 金澤主幹

そうです。

○ 村上委員

分かりました。ありがとうございます。

○ 議長

その他、何かございますでしょうか。柴崎委員。

○ 柴崎委員

学校図書館との連携の事案で、学校図書館を相互貸借の対象とすること等とございませうけれど、この学校図書館とは高等学校図書館ということでしょうか。

○ 金澤主幹

この相互貸借の対象とするのは、高等学校図書館、それから小中学校図書館も想定しております。ただ、現状ですね、学校図書館は市町村図書館を通じて団体貸し出しで貸し出しは受けられるんですけど、ちょっと時間的に余裕が無いとか、様々な理由で直接県図書

館から借りたいという時に、これまでそういう手立てが無かったということで、今回、必要に応じて直接県図書館に申し込みをして、県図書館から貸し出しをする、という風な形を整備したいということで、こちらの支援策のひとつとして考えております。

○ 柴崎委員

分かりました。

○ 議長

他にございませんでしょうか。はい、千葉委員お願いいたします。

○ 千葉委員

15ページのボランティア活動についてなんですけれど、私今日けっこう早い時間に図書館に着いてしまったので、いつもは近くの若林区図書館は、私が利用している図書館なんですけど、絶対こっちの方に来られない女ですから、初めて登録カードを調べていただいて、本を借りたんですが、あんな早い時間にも、ボランティアの方だと思んですけど、小さな足取りで、黙々と本を整理したり、年配の男性の方、職員さんではないですよ、ボランティアの方だと思んですけど、本の整理をされていた方が男性の方もたくさんいらっしゃったので、はあ、と思ってちょっと半分気にしてたんですけど、こちらに、ボランティアの登録者と活動者数が出ているんですが、これは、実際活動者の数の方がこのグラフでは多くなっていますけれど、登録をされていない人がボランティアとして活動されている方がたくさんいらっしゃるということなんですか。

○ 金澤主幹

はい、こちらのボランティア活動者数、15ページのところなんですけれど、これはですね、ボランティア自体は今年度98名いたんですけども、これの他にですね、読み聞かせ団体というのがございまして、そちらでやっている読み聞かせの活動の数字も加味した数字が、令和2年度ですと131、ですかね、という数字になっております。98と131の差は、読み聞かせ団体の活動者数となっております。これにつきましては、過去に、平成30年の協議会の時にですね、ボランティアの数と、それから読み聞かせ団体の数も一緒に入れたらどうかという提案がございまして、そのような経緯がございましてこちらの様な表記にしている、ということでございます。

○ 千葉委員

分かりました。

うちの息子が、このコロナがひどい時に、ボランティアの数が全然減らないというのがすごいなと思うんですけど、この会はどういう、皆さんやりがいがあるってやってらっしゃる感じですか？

○ 金澤主幹

はい。ボランティアの皆さん、大変非常に精力的に意欲をもって取り組んでいただいています。図書館側としても、いろんな活動に関わっていただいているので、すごくありがたいと思っております。

○ 館長

昨年コロナが流行りだした時に、休館をしてました。その後開ける時にですね、ボランティアの皆さんに、大丈夫かどうか確認をしてその上で。ちょっと、っていう方も正直いらっしゃったんですけども、大多数の方が継続して活動いただいて、私どもとしてもありがたいな、と思っています。

私どもとしても、できるだけ感染対策として、消毒とか、マスクの着用とか、簡単なアクリル板をつけてるとか、私らでできる感染対策とできない対策があると思っています。

○ 千葉委員

ありがとうございました。

○ 議長

他には。

○ 村上委員

ボランティアに関わってなんですが、今伺ってすごいな、と思ったんですが、こちらのボランティアさんは、ボランティア保険には、ご自身で加入するのか、それとも県として加入して差し上げるのかどちらなのでしょう。

○ 金澤主幹

当館で加入しております。

○ 村上委員

そうですか、ありがとうございます。それで、例えばボランティアの年齢層って多分幅広いと思うんですが、得てしてご高齢の方が多かったですりするのですけれども、そういった方々の、同じ対策を練っていてもコロナ対応ってすごく心配なところがあって、私も某大学でその対応をしたことがあるんですが、そういったところは、年齢層関係なく、希望される方はボランティアに従事していただくというスタンスでやられてるのでしょうか。

○ 金澤主幹

実際の活動に入るときには、手の消毒でありますとか、検温でありますとか、その辺の最低限のコロナ対策はやったうえで活動に入ってもらおうという流れを取っています。

○ 村上委員

ありがとうございました。分かりました。

○ 議長

はい、その他いかがでしょうか。

○ 古関委員

8 ページなんですけれども、研修ってというのは動画の配信，ということで，配信した動画を見たことによって，研修に参加したということになって，このような参加率が急激に増えたと思われるんですけども，内容についても評価とかですね，研修を受けた人達がどのように感じているかという効果についてはどのように知っているのか，とか。また，グループ討議とか，できない訳ですよ。そういう面でいうと，県図書館の，ZOOM とか等，グループ討議をするような環境については現在どうなっていて，今後どのようなことが課題となっているかどうかをお聞きしたいんですけど。

○ 金澤主幹

まず最初のご質問だったんですが，この公共図書館等職員研修につきましては，参加者にアンケートを，終わった後にお答えいただいております。そちらのアンケートの集計は今ちょっと手元に無いんですが，今年度の動画配信形式につきましては，概ね好意的な反応が多数でございました。

それから後段の質問につきましては，今年度，現状ですね，図書館のインターネット環境が，ちょっと回線が弱い，3 Mbps という，非常に弱い状況でございまして，端末の利用が集中するような時は，回線が頭打ちになってしまう，という現状がございまして，今後は回線の拡大といいますか，現状に応じたですね，快適な環境に支障が出ない通信環境に今後していく必要があると思っております。

それから今年度の取り組みといたしまして，ZOOM 端末を用いての，ちょっとそれは図書館の回線とはまた別なんですけれども，ZOOM を用いた会議ができないか，ということで，当館と，こちらに名取市図書館さんいらっしゃってますけども，協力してくれる図書館さんと繋いでですね，一度会議が支障なくできるかどうか，という実験をやっております。

○ 阿部副参事兼次長

追加であとご紹介なんですけど，宮城県全体としまして，ZOOM とか Web 会議勧めております。ご存じのとおり，県内 5 か所に合同庁舎がございまして。県庁と各合同庁舎が結ばれておりますので，ここの場所にこだわらず，私どもがちょっと移動して，あと各合同庁舎の近くの方々に集まっての形と，いうのも今模索しているところでございます。

○ 議長

すいません、今の件で質問させて頂きたいのですが、先程 3 Mbps とお話がありましたけれども、それはどこの回線速度、帯域のことを仰ってますか。

○ 金澤主幹

昨年度導入しました図書館システムですね。こちらがインターネットに繋がる回線の速度ですね。

○ 議長

基幹の回線の、要するに光回線の接続分が 3 Mbps, ということですか。

○ 金澤主幹

あの、光にはなってないんです。恥ずかしい話ですけども、光回線ではないんです。

○ 議長

え！？光にしても、それほど、今はかなり安くなっているんですけど、要するに通常 ZOOM だと、最低でも 1 Mbps 位、各端末のところが必要なんですね。それで動画だと 1. 2 ~ 2 Mbps ないとちょっと使えない。これは私ども今コロナ禍の中で授業、オンラインでやっている関係でですね、どうしても学生が自宅からアクセスする時に、動画見れないということで、そのかなり種類等、広範に調査をして、学生にルーターなり、通信環境の貸し出しをするということで、無料で当然で貸し出しをするということでやってきたんですけども、そういう状況を考えると、かなり通信回線としては脆弱だと言わざるを得ないので、それはメインとしてきちんと要求をしていただいたほうがいいのではないのでしょうか。こういう状況の中でも事業継続に関わることでありますので、この点については強く協議会の方から要望があった、という事にしていただければ、と思うんですけど、いかがでしょうか。

○ 館長

今の点につきまして、私どもの方からも本庁に話したい、と。

こうした Web 会議の導入につきましては、県全体としてどう取り組むか、という問題もございます。いろんな施設がございますので、全てにすぐ時点で回線を全部やるか、というのは大変な手間暇がかかる訳ですし、場合によっては先程ご説明で出ましたけども、県の合同庁舎単位でやるとか、あるいは、本庁に近いところだったら、私どもが本庁に行き、一般の施設と違うから、様々なやり方があるんで、そこは県全体としてどういうスタイルに持っていくか、それは別途進めているだろう、と思います。

○ 議長

はい、武者委員。

○ 武者委員

研修のところですけど、初任者を対象とした研修会にこういうことがあったという意見のご紹介ですが、フレキシブルな時間帯、日にちに受講できたというところに魅力があったのかな、と思っており、これについて感謝しているものです。各市町村からまずこちらに出向くこと自体が大変なところもあるでしょうし、あと窓口も時間で決まっている、あるいは出勤の日、こちらは公休日が行蘭であるという状況の中で、初任者の人に少しでも多く受けてもらうようなスタイルをお示しいただいたのかな、と思っておりますので、座学ということでありましょから、こういう形も有効なのかな、と思っております。今話題になっているワークショップ形式とかグループ討議という形については、良くしていただくことを期待したいな、と思っております。以上です。

○ 副館長

ありがとうございます。コロナが出ましてから、非常に大変な期間を過ごしておる訳なんです、その中でもですね、いろいろな発見がございまして、こういった会議もですね、「あれ？集まなくてもいいんだな。」とか「これ集まんなきゃならないな。」とか、その辺がずいぶん明らかになってきてます。ですのであの、先程の実技なんかであれば集まんなきゃなんないとかありますし、そういったところでリアルの部分と、あとはその、ネットの部分、のですね、メリハリをつけながら今後はやってかなきゃなんないんだろな、というように考えてますんで、もうちょっとそこら辺を検討させていただきたいと思っています。以上です。

○ 議長

はい、他に。菅原委員。

○ 菅原委員

評価シートの4の、子どもの本の移動展示会についてお話をしたいと思います。この、子どもの本の移動展示会なんですけれども、13館、それから25校に29セットを貸し出した、というように記載がありました。これは、それぞれの図書館で展示会を行った場合なんですけど、自由に、子どもたちが、訪れた子供たちが、きっと読むことができるようになっている展示会であろうと思うんですが、そういった形でよろしいでしょうか。そうした場合、たくさんの本に触れさせることを目標としているのだと思うんですが、どの本がどれだけ子供たちに取りられているかという風な、子どもの読書傾向を探るような、そういった取り組みも同時に兼ねているのかどうか、ということについてお聞きしたいと思えました。それから様々な取り組みをされているのが良く分かりました。サービス向上マナーアップキャンペーンとか、様々なイベントをやる際なんですけど、ホームページ以外の広報活動について、今後どのようにお考えになっている、方向についてお聞きしたいと思えました。ホームページは、本に興味がある人、図書館に興味がある人はそこを訪ね

ますが、本を読まない人はまず開けてみることはないかと思います。また、ポスター掲示も、その場所によっては広くよく見ていただけたらと思うんですけども、館内の掲示であると、館内を訪れた人にしか目につかない、という風になりますので、どうやってこの広報をしていくのかな、とお聞かせ願えればと思います。

19ページの利用館者数を見ると、コロナに関係なく、「読書離れが進んでいるな、世の中全体」という風な印象を受けました。子どもの利用館者数もとても大事になってくるころだと思いますので、方向性についてお伺いしたいと思いました。よろしくお願ひします。

○ 後藤次長

私から子どもの本の移動展示会についてお話し、ご説明させていただきます。

こちら申し込みいただいている図書館、学校ごとに送らせていただいて、子どもの本、約2,000冊展示ということで、お話しさせていただきましたが、ここから200冊を1セットとしまして、10セット用意しまして、県内に貸し出しをさせていただいて、各会場で来館された方、学校であれば児童生徒の皆さんですね、直接手に触れて、手に取っていただいて、ご覧いただける環境で展示をさせていただいております。

県の方で展示をしておりますと、こちらに来て見ていただくのですけれども、なかなか県図書館まで来るのが困難だ、という遠方の方もいらっしゃいますので、こちらで貸し出した資料を直接手に取っていただける機会ということで企画させていただいております。

先程どのような本がご覧いただける傾向にあるか、ということでお話がありましたけれど、そちらにつきましては、特にあの、現在のご指摘されましたデータ等を取ってはいないんですけども、こちらとしましては、先程も申し上げたんですが、なかなか普段手に取ってみることができない本、などもございますので、そういったものに触れていただきたくて今は企画しておりますが、人気のあるもの、というところでの調査・統計集計はしておりませんので、今後の計画に参考にさせていただきながら進めていければな、と思います。ありがとうございました。

○ 阿部副参事兼次長

私の方から広報の関係でございます。ホームページ以外ですと、Twitterも一応発信させていただいております。それから、ここ泉区でございますので、FM いずみさん、こちら活用させていただいて、番組の中でいろんなイベントとか、直接うちの職員が出向いてそこでお話をさせていただいたりとかしております。あと勿論、県の広報、広報紙の方にも、いろんなイベント関係を載せさせていただいております。あと、館内においても、皆さんの目に触れるところに、というところもあるのですが、若干その裏腹なご意見をご意見カードで頂戴して、いろんなものが入り過ぎると、「ちょっとうるさい」とか、そこは悩みどころでございますが、考えてやっております。

それから、入館者数でございますが、やはりあの、4月、5月、休館していたのもござ

いますので、ちょっと数字は減ってございます。

○ 館長

私の方から、補足と言いますか、少しお話をさせて頂きたいと思います。

ホームページ以外の広報をどうするかというのは私どもでも悩んでいるところでして、県の職員をいくつか歩いてきたんですがホームページに載っけてそれでいいや、というところもなきにしもあらずで、そこからもっと突っ込んだ広報をどうしてやっていくか、というのは大事な問題だ、と思います。まあ、広報と言えるか分からないんですが、やはり読書については、小さい時から読書の習慣をどうやって付けるかっていうのが多分最大の広報なんじゃないかなと思っています。その中で、いろいろ連携して、私どもの方でお手伝いできるのであればこれからも継続してやる、それで、図書館に限らず読書の習慣をもっと根付かせていくことが大事だと思います。

確かに短期的な入館者数についてちょっとコロナの影響だけで説明していいかどうか私も問題だと思います。コロナの中でもどういった形で読書をしていただけるか、まあこれちょっと私の方から言うのもどうかと思うんですが、電子図書の問題とかいろいろありますし、そういった見解、また考えていきたいと思います。私からは以上です。

○ 議長

はい、村上委員。

○ 村上委員

今の広報の話として、電子的な媒体を頼るのが、一番スピードが速くて拡散力がある、っていうのはご存じかと思うので、そちらの整備を整える、ということと、ちょっと先程の話に戻ってしまうんですけど、県の図書館とか各種文化施設、それから合同庁舎を中心にネット環境を整えているということなんですが、すごく立派な会議システムが無くて、今 ZOOM や MEET、様々な会議ツールがあって、無料で使えたりするので、時間制限はあるんですけど。なので、Wi-Fi の環境さえ整えれば、ステーションさえあればできるので、別にそんなすごく立派な会議システムを使う必要はなくて、パソコン1個さえあれば、みんなどこでも会議ができる時代なんですね。なので、先程会長が仰ったように、Wi-Fi 環境とかそういったところを本当に強く私も要望したいと思ってます。先日大雪が降った時に、この会議できなくなりましたけれど、あのときも、MEET の URL さえ1個あれば、どこでも会議ができたんですね。で、それで、もうひとつなんですが、よくよく言われるのが、県の図書館って皆さんの税金で賄われておりますので、そうすると移動の費用とかそういったことを考えると、ネット環境を整えると費用対効果が非常に良くなる、それは私がここで口出しをするのは差し出がましいんですが、図書館の運営経費も大幅に変わります。実は大学でコロナということがあり、今まで東京に出張に行っていた先生方が、みんなバーチャルで、地元で会議をするようになりました。多分おそらく佐藤先生もそうだと思うんですが、そういった時にどれだけ旅費が浮いたか、っていうのが、

実は内緒で言えないんですが、億単位です。まさに億単位です。それだけ削減できる、というのが、それだけ、まあ、ちょっと繋がりますけど、学習環境とか、まあ大学での学習環境、それから、多分公共図書館で本をたくさん買うことができるんですよ、億単位の本。お金があるというか。そういう、全体的な宮城県図書館の運営を踏まえると、この Wi-Fi を、こじつけですが、Wi-Fi を整えるというのは非常に大きな経済効果を生み出しますので、これは私も切に願いたい、ということでございます。あの、非常に余計な話をして申し訳ないですが、そのように思った次第です。以上でございます。

○ 議長

今の件ですが、もちろん、あの、館内全体の、図書館全体のネット環境っていうのはもちろん、一番いいんでしょうけれども、そうでなくても、例えば、研修用に無線のサービス、ございますんで、要するに別途契約してその部分だけスポット的に使うことも可能ですので、いろんなやり方をご検討いただければ良いのではないかな、と。もちろん、大々的にネット環境、光の部分の整備をされれば一番望ましいのが言うまでもなくて、一番良いことなんですがそうでなくてもいろいろやれることがあると思いますので、ぜひご検討いただければと思います。村上委員が仰ったように、大学の方はかなり国立も私立の方も、大々的にこの面では改革せざるを得ませんでしたので、その、とにかく授業をやらないうことには、授業料をいただいている対価としてのサービスですので、我々も動かざるを得ない状況でやってきておりますので、だからどうってことではございませんですけども、よろしくご検討いただければと思います。

はい、いろいろ議論をいただいたんですが、評価の、概ね順調とか、順調とか、この点についてはいかがでしょうか。各自己評価の値が出ておりますけども、この点についてなにかご意見ございましたら。最後の話題として。

あの、すいません、全般にですね、概ね順調か順調という評価なんですけれども、これは意見の分かれるところがあってですね、例えば私個人としては、自分が館長をやっているんですが、自分のところの評価で全部○にはしたくはないんですよ。全部○にしちゃうと、あの、問題ないじゃないか、予算も増やさなくていいですね、って言われかねないので、必ず△を入れたり、✖を入れたり。要するに課題があって初めて予算要求ができるんで、その辺のところは実はありましてですね、あの、その辺がだから難しいところ。要するに頑張っているけれども、結局いろんな状況があるために、あまり良い評価がつけられなかった、っていうのも当然ありうることで、その辺のところ、要するに全部順調です、っていうのが良いのか、どうなのか、ってところはちょっと疑問があるんですけど、例えば一番最後のところですね、10番、郷土資料のところ、順調ってなっているんですけども、24ページですね、ただその、課題のところには、計画としては順調なんだけれども、たくさん積み残しがあって、非常に大きな問題を抱えてるんだ、とお書きになっているので、どっちにフォーカスするかによって変わってくると思うんですけど、この辺の自己評価と書きぶりのところの平仄がどうも合わないような気がするんで、その辺のお考えをお聞かせいただけますでしょうか。

○ 館長

はい、あの、ご指摘いただいたとおりなんです。正直これで良いという風には私どもは思っていないくて、当然未修復の資料がこれだけあるわけですから早くやりたい、っていうのはございます。この場合のネックが2つありまして、ひとつは予算の問題。これは県だけではなく国の予算も絡む話なので難しい点がございます。それはさておき、もうひとつは実際に修復していただくところのキャパシティというか、能力、処理可能な能力が限られていまして、どうしてもそちらとの両にらみで計画を立てざるを得ないところがございます。というわけで、課題とは思いつつも、中々その、お金さえつけば何とかかなるというものでもない、というのが私どものちょっと悩ましいところでございます。ただあくまでも、これで良いんだということではないんです、問題意識だけここに記録させていただきました。私どもの考え方の示し方としてこれで良いかどうかという点は、ご議論になるだろうな、と。

○ 阿部副参事兼次長

先生の方からお話いただいた、私が先程お話させていただいた、8番目の施設管理の件ですね、今もお話、村上委員とかいろいろ頂戴しましたので、そのところで、またちょっと新たに考えたいと思いますので。確かにサービス向上になってませんし、今お話頂戴したところですね、速やかに対応できるような、今度中々、館長がお話いただいたような、予算の関係もあるんですが、評価としては「皆さんにどうだと言われた」という感じで受け止めたいと思っております。

○ 議長

よろしいでしょうか。はい。それでは議論していただいたご意見を頂戴したということで、この先についてはあくまで自己評価でございますので、ただ、意見があったということは議事録として残していただければと思います。そういう形で、あくまで、宮城県図書館の自己評価として公開されるものですので、図書館協議会としては図書館協議会としてご意見を出させていただいた、となるかと思えます。

ということで、この議事につきましては、今後に意見等を生かしていただけるということで、よろしく願いいたします。皆さんありがとうございました。

それから、他に何か、予定されているものとしては、資料の紹介等ございましたでしょうか。

○ 阿部副参事兼次長

議事といたしましては、今お話いただいたところでございますけれど、委員の方、何か皆さん今回ございましたら。よろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。それでは、議題といたしましては、以上ということで、佐藤会長、議事進行、ありがとうございました。

○ 議長

それでは議事としましては、以上で終了したいと思います。ありがとうございました。円滑な議事進行にご協力いただきましてありがとうございました。あと事務局の方でよろしくをお願いします。

○ 阿部副参事兼次長

ここで、宮城県教育庁生涯学習課生涯学習振興班長の佐藤から、委員の皆様へ、ちょっとご紹介というところでお時間を頂戴いたします。よろしくどうぞお願いいたします。

○ 佐藤班長

宮城県教育庁生涯学習課生涯学習推進班の佐藤と申します。本日はお時間を頂戴しましてありがとうございます。

※1 第四次みやぎ子供読書活動推進計画目標指標等確認結果（令和元年度，平成31年度分）紹介

※2 みやぎの子供読書活動に関する学校状況調査（令和元年度 平成31年度）紹介

※3 図書館法施行70周年記念の図書館関係者表彰受賞紹介

（柴崎委員（名取市図書館館長が受賞））

○ 阿部副参事兼次長

生涯学習課からの情報提供でございました。佐藤班長，ありがとうございます。

委員の皆様には、お忙しいところ、お集まりいただき、ご意見を頂戴いたしました。ありがとうございます。

年度末のお忙しい中でございましたが、以上をもちまして、令和2年度第2回宮城県図書館協議会を終了させていただきます。本日はお疲れさまでございました。

もしお時間がよろしければ、同じフロア2階の展示室の方で震災関係の展示と常設の展示をやってございますので、ご覧いただければと思います。今日はどうもありがとうございました。

14 閉会